

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 11 月 7 日（土）

開 会：午後 1 時 30 分 閉 会：午後 3 時 00 分

場 所：笹尾東 2 丁目集会所

参加者：男 14 人、女 3 人 計 17 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

《 懇 談 》

男性 町の人口減少の主な要因はネオポリスです。高齢化もネオポリスが原因になっていると言えます。町としてはどのような考え方でネオポリスに施策をしようとしているかお考えをお伺いしたいと思います。

町長 今神田や稲部地区ではミニ開発がありまして、特に東北の震災以降、家が建つとすぐに売れていくという状態にあり、その地域は人口が増えています。三和地区はあまり増えてはいませんが横ばいです。これは両親の敷地内に子どもが家を建てるからだと思います。しかしこのような団地の中では、なかなかそれできませんので、こういう現象が起きているのではないかと思います。

今我々が着目しているのは、空き家・空き地なんです。例えば笹尾西 1 丁目に保育園の跡地があります。ここに若い人が入ってもらう条件をつけて売却しようかと思っています。空き家なんです、少し前まで私も団地は空き家が多いと思っていましたが 2%程しかないんです。しかも流動性がある。町全体では 6%程なので、空き家が多いのは在来の方なんです。今年は大規模な空き家調査をしまして、空き家が使えるかどうか、持ち主が貸してもいいかどうかも含めて調査をさせていただきました。在来で言えば、古民家が若い人の間でブームなのでそういうことも活用しながら進めていきたいと思っています。笹尾城山地区は空き地のほうが多いので、そこを活用できればと思っています。

これからは、団地の中で世代交代ができるようになればと思っており、そのためには若い人に魅力のあることとは何なのかについて、我々は情報を得たいんです。

男性 エコの館でいろいろ野菜なんかを販売してますよね。あれは東員町外の人も販売していいんですか。僕も野菜作ってるから売ろうかなと思ったんだけど、役員で相談すると言ったきりなかなか返事くれないんです。

あとコーヒーとか出してるけど営業許可は要らないんですか。駐車場も歩いて来いというのにスタッフは半日でも停めている。

町長 コーヒーの件については、あそこの会費、使用料にコーヒーが付いているという形です。保健所の関係であそこではコーヒーが売れないからそういう形にしています。あそこを使用するとコーヒーが付いてくるという形になっています。野菜の件、駐車場の件については調べます。

政策課長 今は正式名称「憩いの広場」ですが、あそこは団体に土地を貸し出して運営してもらっているので、団体の意向を確認して、団体から回答するよう指導させてもらいます。

男性 昔からまちづくりをするなら道路からとなっているんですね。東員町に例えば東員インターみたいなものを作る構想は持っていますか。

町長 高速道路は国が作りますので、我々が作るものではないんですが、来年の3月にはイオンの横に東員インターができます。だからあそこまで行ってもらえれば新名神にはすぐに乗れます。

男性 若い人はちょっと大きな会社に勤めようかなと名古屋とか大阪とかに出て行きますよね。それが一つの人口減少の原因だと思うんです。町の周辺は竹林が多いんです。竹細工を作るような事業をする企業なんかはどうかなと思っている次第です。

町のお金で人口も増えていくわけですから、そういう構想はお持ちではないですか。

町長 東員町の中にあるもので何かを作り出す、先ほど言われた竹を商品化することで一つの産業が生まれるということですよ。我々もそういう動きをしていかなければならないし、町民の方にもお願いしたいと思いますので、またよろしくお願いします。

男性 東員町も道の駅作ったらどうですか。

町長 北勢地域に道の駅は菰野に一つしかないんです。北勢地域は店が多いので成り立たないのかなという気がしています。菰野以外に無いのでなかなか採算が合にくいのではと思っています。まずは採れたものの直売を考えて、それがうまく回転していくようになれば道の駅になるのかもしれませんが、いきなりは難しいと思っています。まずは農産物が足りませんからみんなで作っていかないと、と思っています。

男性 お休みに集まっただき行政の方にも自治会の方にもありがたいと思っているのですが、各職員の方から近所の人にもう少し告知をしてもらえれば、こんなにいい資料があるのだから東員町の現状をもっと皆さんに知ってもらえたんじゃないかなと思います。あと行政と町民、議会の足並みがそろわないことがあるかもしれませんが総務部長にお願いがあります。町民からのいい案を気軽に聞く場所を設けて欲しい。

例えば審査会を作って今回はこんなテーマを決めて広報に載せてやっていくとか。町長や副町長がやるんじゃないじゃなくて部門別にやるべきだと思います。あと昔は建物をたくさん建てたけど、東員第一中学校は50年経つから、建て替えとかにお金がかかるんですよ。資料にも公共施設の維持管理について書いてあるけどもう少し我々町民が、分かりやすいような文言を一言入れてもらえたらもう少し理解しやすかった。

総務部長 PR不足はいろんなところで言われています。インターネットを含めて改めていかないという認識を持っています。

男性 年よりはインターネットなんて使わないんだから、役場の一箇所にそういう場所を作ってくれたらいいの。

総務部長 我々の場所にはいい提案ももちろんありますがクレームもきます。我々がいただいたものはすぐに担当課長に連絡するとともに、執行部会などで横の連携も取りなるべく早い対応を心がけていますので今後ご意見をよろしくお願いします。

男性 結局、笹尾交番の跡地はグループで利用されるんですが、我々からしたらたいした額じゃないと思うんですが、物品販売の形が取られているものもあるんですよ。ボランティアの方も販売してますが、明らかに業者じゃないかというような人が販売していると物品販売所と見えなくもないんですよ。指導で理解してもらえればいいんですけど、柿なんかはみんな業者さんですよ。売値もスーパーと変わらないんです。

男性 それをね、あそこのスタッフは商売じゃないと言っているんです。

町長 調査します。

男性 東員町まちづくりアンケート、私も対象だったんですが、在来とネオポリスだと環境も違うと思うんですが、その辺は考慮されたものですか。

政策課長 今回は地方創生に向けたアンケートで、地区にこだわったわけではなく、年齢層にこだわりました。25～45歳の方、大学生の方、高校生の方、中学生の方、転入・転出した方にまちづくりについてアンケートを取りました

男性 答えに迷うものが多かったから、どういう形で集計されるのかなと思ったもので、お金を使ってアンケートをとってるんだから適切なやり方だったのかなと。

政策課長 今回のアンケートの趣旨は東員町でどういうことをしていったら住んでもらえるかなどを中心にした内容になっています。

男性 第5次総合計画もあったかと思いますがそれはどうなっているのでしょうか。

政策課長 総合計画は10年計画ですのでいくつか目標値を設定していきまして、27年度が中間になりますのでどれくらい達成したか、アンケートでお聞きして、どこまで達成したか評価していきます。

町長 私が就任した時には取りかかっていたもので、私としてはもう違うんじゃないかという所が結構あります。途中からやり直すこともあるんですが、何年もかけて作ってきたものを就任したからやめるって言うわけにはいきません。ですから修正を加えながらやっていかないとと思っています。

男性 企業でも何でも長期でやってるものの中間発表するのは当たり前じゃないの。できたかできなかったか出すだけでもいいのでは。

政策課長 今年度は最初に総合計画を作っていた委員さんをお願いして評価してもらう予定です。また、3年間の事業について定めた実施計画もありまして、毎年細かいことの見直しをかけております。

男性 そのほかにもまちづくり町民会議というプロジェクトもあったんですね。それと基本計画とはリンクしているんですか。

政策課員 まちづくり町民会議のほうは、いろいろな計画とは別で考えております。そちらには町の職員も参加していきまして、10年、20年後にむけて、個人で出来ることを考える場所として活動をしています。まちづくり町民会議では個人として出来ることを一つの冊子にまとめ、町のほうに提案しています。

男性 計画とかそういったものの実現状況を広報とかで町民の皆さんにお伝えしたほうがいいと思います。

町長 何年もすれば総合計画に合わない部分も出てくると思います。枠にとらわれない動きが必要になる。そこをどのように総合計画と併せていくかが後付けすることだと思うんです。計画だけにとらわれていたら前に進みませんので。町民の方にお知らせしていくのはさせていただきます。